

長崎県平戸市大島村からの報告

個人会員 米村 伍則

長崎県平戸市大島村神浦 52 ☎0950-55-2487

E-mail : i-yonemura@mx51.tiki.ne.jp

●地区の概要及び活動の経過



神浦伝統的建造物群保存地区(H20 年度国選定)

平戸市大島村は古くから渡唐船等の寄港地として知られ、地頭職大島氏の 400 余年の活躍と江戸前期の捕鯨業が歴史的特色である。島の南東部に歴史的町並みの神浦地区がある。重伝建選定の評価は、”捕鯨業の創業と廃業を経て近世的な港町へと発展した過程を知ることができる・・・”である。特徴は①江戸前期の捕鯨業 ②中心部に江戸期の建物が多く残っている③江戸期から昭和前期まで各時代の建物が残っている ④深く湾入した神浦港・(①~④調査報告書より)である。

H16,2 有志による町並み活性化の「あづち大島たからもの会」発足。保存活動の母体となる(9名)

●主な活動内容

H17.18 伝建保存学術調査協力

H20.5 NPO 法人文化財匠塾平戸支部発足

H20.6 神浦伝統的建造物群保存地区・国選定
伝建保存修理事業始まる

H21.1 作事組全国協議会発足・個人加入

H21,5 第3回九州町並みゼミ神浦大会開催

H21.6 神浦町並み保存会発足

H23.6 あづち大島重伝建作事組発足(25名)

保存地区の概要・特質、保存の方針、建造物等の保存整備、管理・防災施設整備等が「保存計画」として策定され、保存事業の推進体制として町並み保存会や技術者集団等の必要性が明記されている。これらの関係組織・団体を中心とした保存



(保存修理の状況・古材の尊重)

修理基盤の確立が官民協働と合わせて肝要と努力しているが、まだ確立とはいえない状況である。

空き家の課題については、スギ花粉が少ないという大島の特性を活かし、平成 19 年度から毎年「スギ花粉避粉地体験セラピーツアー」を実施し、個人的避粉滞在による町家活用を考えている。全国的にスギ花粉避粉地として知名度を上げ、地域の活性化に寄与できればと努力している。



●これからの活動の課題等

官民協働、連携協力による保存修理基盤の確立

●感謝 10 年ほどの活動にすぎませんが、作全協をはじめ活動当初から指導助言をいただきました八女福島の町並み関係者、NPO 法人文化財匠塾などの皆様に感謝申し上げます。